

ニュースクリップ

IT活用で独自サービス打ち出す

トライズパートナー

秋山和久代表



企業経営を税務面からサポートする税理士の平均年齢は60歳を超え、ほかの業界と比較してひと際高い。そんななか、「若い力で税理士界に新風を」と奮闘するのが税理士の秋山和久・トライズパートナー代表だ。

秋山代表は「IT（情報技術）を最大限に活用できるところが強み」と胸を張る。資料の完全データ化や無料インターネット電話の「スカイプ」を導入

し、業務の効率化、経費削減といったメリットを高めるためのデジタル化を推進する。

一方で、アナログ面も重視しており「直に会って話をするのでしかわからないお客さまの思いをくみ取ることが重要」と語る。こうしたデジタルとアナログを融合した独自のサービスを打ち出し「全てはお客さまに信頼していただくため」と言い切る。

従来の顧問契約のように月の顧問料を固定せず、業務を細分化しその報酬だけを受け取る会員サービスのような料金体系も特徴。「ニーズを感じて構築したスタイル。費用対効果をより実感してもらえる」と自信を見せる。「事務所拡大も重要だが、質にとことんこだわる職人のようなスタンスも大切にしていきたい」と仕事に対する心構えは明確だ。

ファイナンシャルプランナーとしても活躍

大手の税理士事務所や弁護士、司法書士、社労士と連携し、さまざまな問題にワンストップで応える体制を整えている。

ファイナンシャルプランナー

としても活躍する秋山代表は、「ライフプランや相続の相談も専門的に対応できる」と頼もしい。これらはみな税理士業をサービス業ととらえ、常に顧客の

利益を考えた結果だ。「自分は業界ではまだまだ若手。お客さまとともに発展し、成長していきたい」と瞳を輝かせる。

■税理士事務所トライズパートナー
大阪市東淀川区東中島2の8の8

ワークステーション新大阪1205

☎06・6160・5656

<http://trise-partner.p-kit.com>